

# 地域の後継者不在に新たな解決策を

## ものづくり企業から人づくり企業へ

### 南星 宮部 康弘 社長に聞く

次世代リーダー育成プロジェクト「LEADERS（リーダーズ）」を2018年に立ち上げ、地方の後継者不足問題に第三者事業承継という新たな解決策を提案し、後継者不在による廃業をなくすことで地方経済を元気にしたいと事業を進める南星。自らも同社の事業を継承し経営に携わるようになった経験を生かす宮部康弘社長に同プロジェクトの状況や今後の展開などについて話を聞いた。

（企画開発部・宇治野 誠）

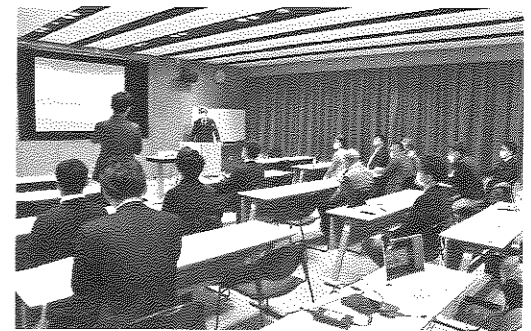
— 第三者事業承継を視野に後継者候補を育成する「LEADERSプロジェクト」の状況は。

宮部 2018年からスタートした「LEADERS」プロジェクトは、3期生まで実施し、現在、企業の後継者になりたいという卒業生が20人います。当初は後継者希望者数を50人まで増やす予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、研修が思ったように開講できず、一時的にストップしている状況です。その間、後継者不在に悩むパートナー企業さんを募集し、対話と相談を重ねているところです。現在、9

社のパートナー企業さんが登録しています。そのうち1社では、後継者としての指名を受け、ちょうど株主総会に向けて進み始めたところです。

— パートナー企業の定義は。

宮部 後継者不在に悩みながらさまざまな選択肢を検討する企業は熊本にも数多くあります。事業承継を考える上で、リーダーズをその選択肢に入れていただいている企業さんと言えます。パートナー企業の登録では、お互いに機密情報を開示しますので、はじめに機密保持の契約を結び、マッチングを開始



▲NPO法人くまもと新創生プロジェクトが運営する熊本の経済活性化を目的とした勉強会「くまもと元気かい」で講演する宮部社長

自らの経験を生かした事業

— 「オーナー社長の最強引退術（幻冬舎）」を出版されましたが、その経緯は。

宮部 出版したからと言って爆発的に何かあるわけではありません。当社のリーダーズ事業をホームページで見つけられた幻冬舎さんから連絡があり、全国的に後継者をマッチングする事業は存在するものの、後継者を育ててマッチングするという事業は珍しいと興味を持たれたようです。本を出しませんかと勧められたのですが、最初は必要ないだろうと思っていました。しかし、私が南星を引き継いだ当時、当社が69年目でした。

— 74期にあり、あと26年後です。つまり、それを実現するには私自身も次の代に引き継がなければならぬということですね。私の経営者としての役目は、南星が100年先も走り続けることのできる土台を築き上げることだと考えています。

もし私自身が引き継いでいなかったら、70年近く続いた企業の歴史はそこで終わってしまいます。全国に事業承継をやらなと決めている経営者も多い中、その歴史を絶やさないために、何か伝えられるのではないかと思い直し、本を出してみようと思いました。保険の営業マンをしていた私が後継者として南星を継いだことは、ある意味、大切な企業の人生をバトンタッチされたような思いでした。出版した本では、私の事業承継の経験を交えながら、事業承継を通して「幸せの連鎖」を実現してもらいたいという思いをまとめています。

事業承継は誰もが初めてのことで、周囲の環境もさまざまです。失敗も多くあります。だからこそ、誰かがお手伝いをするので、うまくバトンタッチできると思います。リーダーズでは事業承継の後も軌道に乗るまでサポートしていきます。このコンサルティングの部分こそが熊本の本の企業を元気にするリーダーズ事業の根幹だと言えます。

— 今後の事業展開や目標は。

宮部 私の経営者としてのゴールは、先代の社長と約束した「南星100年を実現する」で

— 今後は事業展開や目標は。

宮部 私の経営者としてのゴールは、先代の社長と約束した「南星100年を実現する」で

— 今後の事業展開や目標は。

— 今後の事業展開や目標は。

みやべ やすひろ/ 島島町出身。1972(昭和47)年3月生まれ50歳。九州東海大学機械工学科卒、住宅会社営業、生命保険会社営業などを経て、2017年7月南星取締役として入社、18年3月常務取締役、同年11月代表取締役役に就任。趣味はゴルフ、バーベキュー



▲宮部社長著書の「オーナー社長の最強引退術」